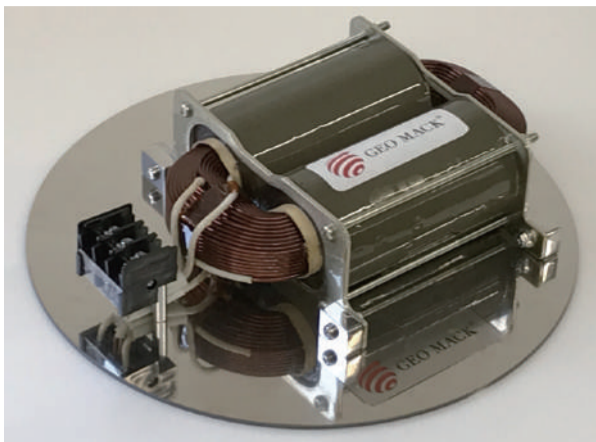


日本の トップランナー企業

トランスメーカー編



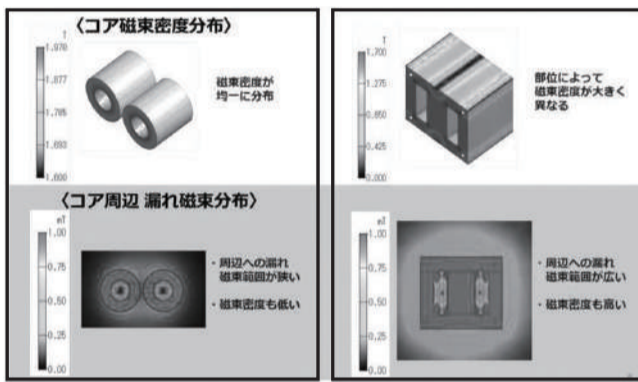
▲ GMKトランス

重量は 半分以下に

SHT(大阪市中央区)はインダクター(受動素子)部品専門メーカーで、電動車向けセンサーコアや家電向けチョークコイル、カレントトランスなどを製造している。基幹部品のコイルに使われるコア(鉄心)の製造をはじめ、コイル巻線、プラスチック射出成形といった一連の生産技術を強みとしており、特に工程の自動化を極めることで、性能や品質の高い製品を生み出してきた。近年、大きな需要や反響が見込める画期的な製品のための技術ブランド「GEO MACK(ジオ・マック)」を立ち上げ、その量産第一号製品として、小型軽量化を進めた電源トランス「GMKトランス」の生産・供給を2023年春から始めている。

「電源トランスはこれまで取り扱ってこなかったが、新しい製造手法や設計面のアイデアで、業界では完成形と認識されてきた既存製品をさらに進化させることができた」と新製品の「GMKトランス」について、手応えを口にするのは今西恒次取締役。ここで言う既存製品とは「EITトランス」や「NCWトランス」と呼ばれる電源トランスを指す。「GMKトランス」はボビンに巻き取ったコイルに方向性電磁鋼板をコア材として巻き付けた「NCWトランス」と基本構造は同じだが、

「EITトランス」は製造が比較的簡単で、幅広い用途に使われる標準的な電源トランス。GMKトランスは「EITトランス」よりも小型軽量化を図った製品として知られている。一方、「GMKトランス」はさらなる



▲ コア漏れ磁束の比較

新たな巻線技術を開発し、ボビン廃止による小型化を図った。さらにコア材の使用量も削減し、製品の軽量化やコストダウンにもつなげた。「EITトランス」は製造が比較的簡単で、幅広い用途に使われる標準的な電源トランス。GMKトランスは「EITトランス」よりも小型軽量化を図った製品として知られている。一方、「GMKトランス」はさらなる

「EITトランス」は製造が比較的簡単で、幅広い用途に使われる標準的な電源トランス。GMKトランスは「EITトランス」よりも小型軽量化を図った製品として知られている。一方、「GMKトランス」はさらなる

一貫生産が
強みの源泉
新製品で
世界に驚きを

新構造により大幅な小型・軽量化を実現した 電源トランスを市場投入

12月21日 木曜日
2023年(令和5年)

SHT

「超」「絶」「驚」がお約束
「GEO MACK」は独自の巻線技術・生産技術を使用し、高い性能を実現した製品群に付与される技術ブランドです。